

09/21・日銀緩和、量から質へ 長期金利0%に誘導 <1>

- 物価2%超まで緩和継続 総括検証、新たな枠組み 長期金利一時プラスに
- ・商業地基準地価9年ぶりプラス 危うさ潜む地価上昇
 - 訪日客効果にマイナス金利追い風 投資マネー主導鮮明に 市況、相本は天井感
- ・G7外相会議 (20日NY) 中国の海洋進出「一方的行動に反対」声明

09/22・日銀、緩和の長期化視野 誘導目標に長短金利 量から転換 円乱高下

- ・もんじゅ廃炉年内決定 核燃料サイクルは堅持 <2>
- ・中国民間債務急増に警鐘 BIS、IMFなど 金融危機のリスク
 - 債務の伸びがGDP成長率より異様に高い 中国、他の地域を引き離して最も高い

09/23・米、追加利上げ見送り 21日米連邦公開市場委員会 (FOMC)

- イエレンFRB機長、年内1回に意欲 日米錦秋政策読みづらく 市場の解釈割れる
 - 円高、1カ月ぶり100円台 日米の金融政策受け
- ・安倍氏、日本首相として初のキューバ訪問 キューバ投資拡大後押し

09/24・長期金利0%手探り マイナス0.055%に低下 日銀、当面は静観 <3>

- 市場は「多少のマイナスは容認する」とみて上昇観測乏しく
- ・生保販売、運用難で逆風 新契約高上期2年ぶり減 日銀緩和で不振

09/25・米国向け大型車シフト 日本勢増産、ガソリン安で需要 <4>

- トヨタ、プリウス増産計画凍結
- ・EU、難民流入を抑制 関係10か国首脳、違法な移動に歯止め
 - 国境検問厳格化へ 受け入れ推進、独でも逆風
- ・英労働党、コービン党首を再選 党内融和訴え

09/26・家計金融資産2期連続減 4-6月1.7%減 円高・株安響く <5>

- 6月末1746兆円 株式16.6%減 投資信託11.7%減 現金・預金は1.2%増の920兆円
- ・韓国ロッテ会長逮捕状請求 背任や横領容疑 裁判所、月内に判断

09/27・アジア新興国5.7%成長 (アジア開銀今年予測) 7月から上方修正 <6>

- 中国とインドが支えるも先進国景気回復の遅れなどで15年ぶりに低い伸びに
- ・黒田日銀総裁講演 長短金利ためらわず下げ 「為替安定に努力」 (26日)
- ・7月日銀会合議事録要旨公開 「量」の限界で二分 副作用懸念も
- ・シリア停戦、事実上崩壊 外交手詰まり 内戦泥沼化

